

令和6年度 八戸市の財務書類【概要版】

(単位：億円)

■貸借対照表（令和7年3月31日現在）

貸借対照表（バランスシート）は、市の施設(公共資産)、市の所有する現金や基金、資産形成のために投資された資金や借入金などがどのくらいあるかを示したもので、資産・負債・純資産の3つの要素から構成されています。

科目	R 6			R 5			増減 (R6-R5)		
	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結
資産の部	2,516	4,270	4,887	2,563	4,342	4,961	▲ 46	▲ 72	▲ 73
固定資産	2,429	3,971	4,514	2,463	4,005	4,549	▲ 34	▲ 34	▲ 35
流動資産	88	299	373	100	337	411	▲ 12	▲ 38	▲ 38
負債の部	1,292	2,599	2,898	1,310	2,633	2,941	▲ 18	▲ 34	▲ 42
固定負債	1,185	2,400	2,676	1,207	2,432	2,712	▲ 22	▲ 32	▲ 36
流動負債	107	199	223	103	201	229	3	▲ 2	▲ 6
純資産の部	1,225	1,671	1,989	1,252	1,709	2,020	▲ 28	▲ 38	▲ 31
負債+純資産	2,516	4,270	4,887	2,563	4,342	4,961	▲ 46	▲ 72	▲ 73

■行政コスト計算書（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

福祉や教育などの人的サービスの提供など、資産形成につながらない行政サービスのコストがいくらかかっているかを整理したものです。

科目	R 6			R 5			増減 (R6-R5)		
	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結
経常費用 (a)	1,004	1,698	2,015	990	1,681	2,055	14	17	▲ 41
人件費	125	267	322	115	245	297	10	22	25
物件費等	292	490	566	267	463	536	25	26	30
その他の業務費用	14	39	43	13	39	47	1	0	▲ 4
移転費用	572	903	1,083	594	933	1,175	▲ 23	▲ 30	▲ 92
経常収益 (b)	25	284	357	24	280	351	1	4	6
純経常行政コスト (c)	978	1,414	1,658	966	1,401	1,704	12	13	▲ 47
臨時損失 (d)	1	2	2	2	2	2	▲ 1	0	0
臨時利益 (e)	7	8	8	6	5	5	2	3	3
純行政コスト (c+d-e)	972	1,408	1,651	962	1,398	1,701	10	10	▲ 50

■純資産変動計算書（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

市の純資産(正味の資産)が、令和6年度中にどのように増減したかを示します。

科目	R 6			R 5			増減 (R6-R5)		
	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結
前年度末純資産残高	1,252	1,709	2,020	1,265	1,707	2,021	▲ 12	2	▲ 1
本年度純資産変動額	▲ 28	▲ 38	▲ 31	▲ 12	2	▲ 1	▲ 15	▲ 39	▲ 30
【内訳】									
純行政コスト (△)	▲ 972	▲ 1,408	▲ 1,651	▲ 962	▲ 1,398	▲ 1,701	▲ 10	▲ 10	50
財源	930	1,356	1,607	946	1,395	1,696	▲ 16	▲ 39	▲ 89
その他	14	14	14	4	4	4	10	10	10
本年度末純資産残高	1,225	1,671	1,989	1,252	1,709	2,020	▲ 28	▲ 38	▲ 31

■資金収支計算書（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

「資金収支計算書」は、1年間の市の現金の収入と支出の差額が、どのような理由で増減しているかを性質別に区分して整理したものです。

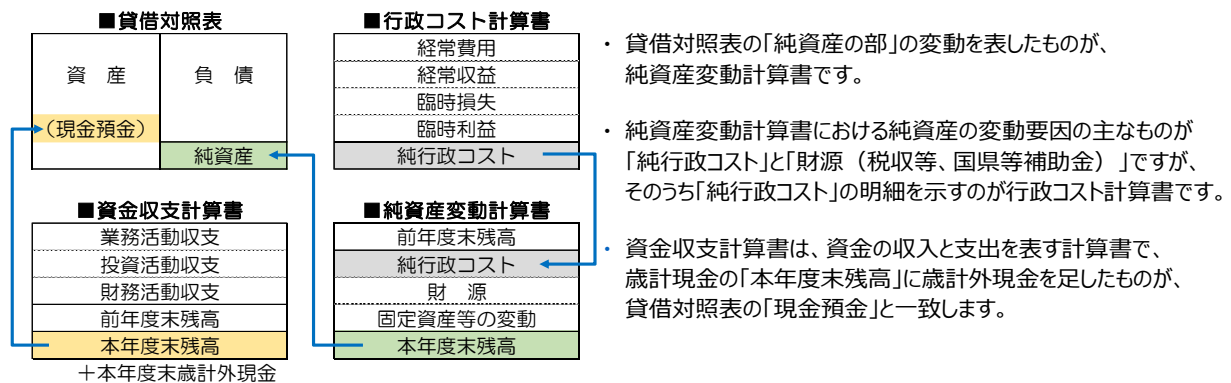
科目	R 6			R 5			増減 (R6-R5)		
	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結
前年度末資金残高	38	188	—	42	182	—	▲ 4	6	—
当年度資金収支額	▲ 3	▲ 41	—	▲ 4	6	—	1	▲ 47	—
【内訳】									
業務活動収支	20	47	—	44	100	—	▲ 24	▲ 53	—
投資活動収支	▲ 1	▲ 66	—	▲ 28	▲ 77	—	28	11	—
財務活動収支	▲ 23	▲ 23	—	▲ 20	▲ 17	—	▲ 3	▲ 5	—
当年度末資金残高	34	147	—	38	188	—	▲ 3	▲ 41	—

※連結会計の資金収支計算書は、連結対象団体によって作成していない団体があるため省略しています。

【会計の範囲】

連 結 (27会計)	
全 体 (16会計)	
一般会計等 (5会計)	①国民健康保険特別会計 ②魚市場特別会計 ③駐車場特別会計 ④中央卸売市場特別会計 ⑤介護保険特別会計 ⑥南郷診療所特別会計 ⑦後期高齢者医療特別会計 ⑧産業団地造成事業特別会計 ⑨自動車運送事業会計 ⑩市民病院事業会計 ⑪下水道事業会計
①一般会計 ②土地区画整理事業特別会計 ③学校給食特別会計 ④霊園特別会計 ⑤母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	①八戸地域広域市町村圏事務組合 ②八戸圏域水道企業団 ③青森県後期高齢者医療広域連合 ④青森県交通災害共済組合 ⑤青森県市長会館管理組合 ⑥八戸市土地開発公社 ⑦(一財)VISITはちのへ ⑧(公財)八戸市総合健診センター ⑨(公財)八戸地域高度技術振興センター ⑩なんごうプラザ(株) ⑪(社福)八戸市社会福祉事業団

【財務書類4表の関係】



【増減の主なもの(一般会計等分)】

■貸借対照表

固定資産	R6: 2,429 億円	- R5: 2,463 億円	=	▲ 34 億円
固定負債	R6: 1,185 億円	- R5: 1,207 億円	=	▲ 22 億円

小中学校空調整備事業等の実施により建物資産は増加しましたが、減価償却累計額を含めると固定資産全体では34億円減少しました。

また、地方債は借入よりも返済が多く、固定負債は22億円減少しました。

■行政コスト計算書

物件費等	R6: 292 億円	- R5: 267 億円	=	25 億円
移転費用	R6: 572 億円	- R5: 594 億円	=	▲ 22 億円

自治体情報システム標準化経費等の増により、物件費等は25億円増加しました。

また、物価高騰重点支援給付金(国補助)等の減により、移転費用は22億円減少しました。

■純資産変動計算書

財源	R6: 930 億円	- R5: 946 億円	=	▲ 16 億円
その他	R6: 14 億円	- R5: 4 億円	=	10 億円

地方創生臨時交付金等の減により、財源は16億円減少しました。

■資金収支計算書

投資活動収支	R6: ▲ 1 億円	- R5: ▲ 28 億円	=	26 億円
財務活動収支	R6: ▲ 23 億円	- R5: ▲ 20 億円	=	▲ 3 億円

投資活動収支は、公共施設等整備費支出や基金積立金支出の減等により、26億円増加しました。

また、財務活動収支は、公共施設整備等に係る地方債発行収入の減により、3億円減少しました。